

平成24年度関東東海北陸農業試験研究推進会議経営部会秋季研究会開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議

経営部会 部会長 梅本 雅

## 1. 趣 旨

新規就農者の育成・確保は農政にとって喫緊の課題であり、行政をはじめ農協、農業者等でさまざまな取組みが行われ、農業の新規参入者は年々増加傾向にある。

しかし、就農後の定着率は必ずしも高くはなく、たとえ定着したとしても高い収益性を確保できている農業者は多くない。静岡県では、収益性の高い施設園芸（イチゴ、ミニトマト）を対象作物として、新規就農者を受け入れてきたが、施設整備等の初期投資が負担となり、経営確立の規模に至る事例は少ない。また、施設園芸で得られた新規就農者育成のノウハウを、土地利用型農業へ移転することが求められている。

そこで、新規就農者の夢の実現と、生産の大宗を担う有為な担い手の確保をはかるため、静岡県における代表的な担い手育成の事例を紹介し、その取り組みの評価と今後のあり方を考察するとともに、就農後すみやかなビジネス展開をはかるために必要な施策を明らかにする。

2. 開催日時 平成24年11月8日（木）13時～11月9日（金）16時

3. 開催場所 オークラアクトシティホテル浜松および浜松市内農場

## 4. 議 事

1) 現地視察 11月8日（木）

12:50 オークラアクトシティホテル浜松玄関ロビー集合  
（浜松駅北口を出て徒歩約3分）

13:00 出発

13:30-14:30 京丸園株式会社「企業的経営におけるユニバーサル園芸の取り組み」

15:30-16:30 スズキ果物農園「関係機関の連携で新規就農者の自立を支援」

17:00 浜松駅北口帰着

18:30-20:30 情報交換会 オークラアクトシティホテル浜松3階メイフェア

2) 担い手支援の事例発表と意見交換会 11月9日（金）

オークラアクトシティホテル浜松30階パール

8:50 開会・挨拶

9:00-9:30 事例発表①「JA出資農業生産法人『とぴあふぁー夢』」

小松義久（JAとぴあ浜松）

- 9:30-10:00 事例発表② 6次産業化を支える地域密着型金融  
影山雅也（ヒノン農業株式会社）、辻村昌樹（浜松信用金庫）
- 10:00-10:30 事例発表③ 地域ぐるみの担い手支援で32名の新規就農者を育成  
鈴木幸雄（ミニトマトの大規模農家、指導農業士）
- 10:40-11:10 事例発表④ 農業営農代行（ベジプロバイダー）で担い手支援  
加藤百合子（株式会社エムスクエア・ラボ）
- 11:10-12:00 パネルディスカッション

### 3) 関東東海北陸農業試験研究推進会議経営部会 11月9日（金）13時～16時

オークラアクトシティホテル浜松30階パール

- 議事：①国が重点的に研究開発を推進すべき技術的課題への対応について
- ②今年度の研究の進捗状況
  - ③今後推進すべき研究問題と研究戦略
  - ④その他

## 4. 参集範囲

関東東海北陸地域公立試験研究機関・行政機関・普及機関、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、関東東山東海農業経営研究会関係者、農林水産政策研究所、農研機構内研究所、中央農業総合研究センター、その他部会長が必要と認めた者

## 5. 参加費 情報交換会6,000円＋資料代500円

## 6. 参加申込

参加を希望される方は、10月26日（金）までに、別紙申込用紙にご記入の上、Faxまたはメールにより事務局まで申し込みください。

なお、宿泊は会場近くに多くのホテルがありますので、各自で手配くださいますようお願い致します。

## 7. 事務局および申込先

### 秋季研究会事務局及び申込先

静岡県農林技術研究所 経営・生産システム科（担当：中川孝俊）

〒438-0803 静岡県磐田市富丘 678-1

TEL:0538-36-1551 FAX : 0538-37-8466、メール : [agrikeiei@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:agrikeiei@pref.shizuoka.lg.jp)